



The・無投薬豚へのチャレンジ

《抗生物質・合成抗菌剤完全不使用》

—「次世代に贈ります」健やかなライフスタイルと信頼を！—



群馬県 有限会社 江原養豚

経営の概況・推移

□ 労働力構成

区分	続柄	従事日数	部門担当	備考
構成員	本人	280	経営全般	役員
	妻	280	経理・肉販売	役員
従業員	パート	270	一般管理	70才
	パート	270	一般管理	30才



□ 経営推移

年次	規模	経営・活動の内容
昭和26年	1頭	・養豚業開始
昭和50年	50頭	・有限会社 江原養豚設立
昭和52年	70頭	・本人就農 代表取締役
昭和57年	150頭	・堆肥化处理・尿浄化处理施設の設置
平成12年	150頭	・抗生物質・合成抗菌剤・駆虫剤等を使用しない豚肉生産開始
平成18年	155頭	・生産情報公表豚肉JAS認定、取得 ・Non - Gmo給与飼料開始

経営・活動の推移

□ 収入の状況

部門	種類・品目	販売・出荷量	金額(千円)
生産	肉豚	2,914	97,644
販売	肉直販		5,650

□ 経営実績

区分	項目	数値
種雌豚1頭当たり 年間	分娩回数	2.23
	分娩子豚頭数	25.4
	子豚離乳頭数	22.1
	対離乳頭数事故率	9.3
	肉豚出荷頭数	18.8
	所得	137,525
枝肉1kg当たり	販売価格	470.5



経営・生産活動の内容

1. 飼育管理技術

(1) 無投薬による飼育

(2) 生産情報公表豚肉JAS取得
個体管理カード履歴の追跡
保護豚の別管理

2. 豚肉の販売



(1) 無投薬による飼育



- 無投薬の定義、考え方
- 専用無薬飼料の開発、給与

抗菌性物質不使用ハーブ飼料

- ・無薬前期 10 ~ 35日
- ・無薬中期 35 ~ 45日
- ・無薬後期 45 ~ 65日
- ・無薬子豚 65 ~ 120日
- ・無薬肉豚 120 ~ 205日

抗生物質・
合成抗菌剤・
駆虫剤は含
まない飼料

飼料添加剤
・治療用抗
生剤注射は
しない

畜舎・器材
消毒や去勢
時のヨード
剤は使用
する

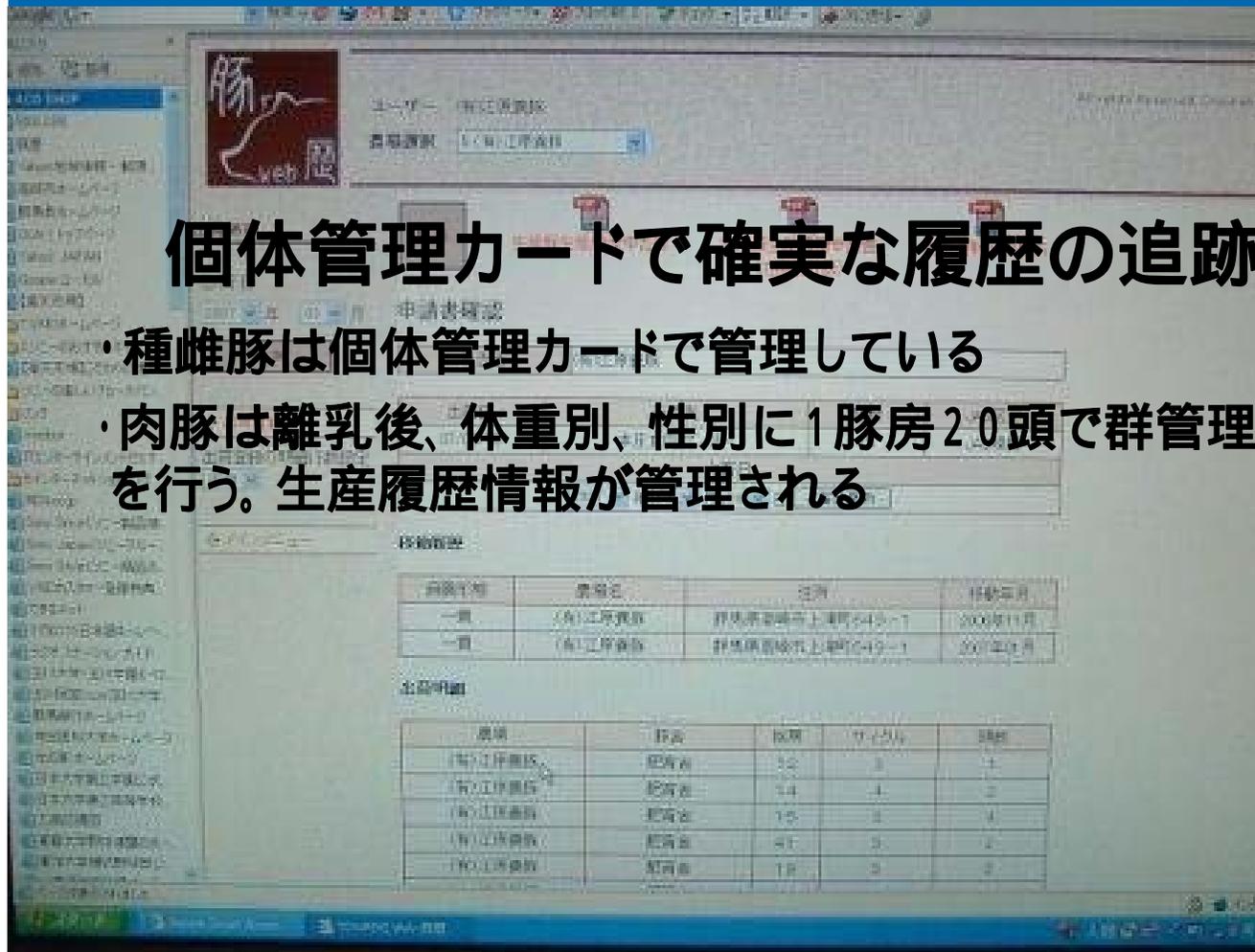


(2) 生産情報公表豚肉JAS取得



個体管理カードで確実な履歴の追跡

- ・種雌豚は個体管理カードで管理している
- ・肉豚は離乳後、体重別、性別に1豚房20頭で群管理を行う。生産履歴情報が管理される



保護豚飼育室

保護豚の別飼育

【家畜福祉】の観点から

- 適切な治療を施し管理台帳に記入
- 体調の回復が早まるように丁寧に飼育
- 治療した豚は、出荷段階まで別室飼育を実施、一般豚として出荷





豚肉の販売





イベントへの出展



地域との協調・融和

1. 生産・部会活動

部会活動等を通して、「消費者や子ども達に農業を正しく理解してもらおう」体験交流会に幅広く参加し、畜産理解向上に一役かっている。

2. 地域資源循環型畜産(ふん尿処理)の実施

尿は河川放流、堆肥は軽トラック2,000円、袋詰300円で家庭菜園、露地野菜農家に全量販売している。

3. 研修生、視察等受け入れ

養豚業開始から現在まで数多くの農場後継者を受け入れてきている。

4. 地域消費者交流活動

中学生を対象に、体験学習の場として農場を提供している。
畜産の普及啓発には、当场紹介や部会活動の積極的な参加活動で養豚業の宣伝活動を積極的に行っている。





今後の目指す方向性と課題

- 「無投薬の豚」の農場増加および生産拡大
- 「えばらハーブ豚 未来」の販売ルート開拓

■ 養豚としての産業周知





The・無投薬豚へチャレンジ

—「次世代に贈ります」 健やかなライフスタイルと信頼を—

有限会社 江原養豚

